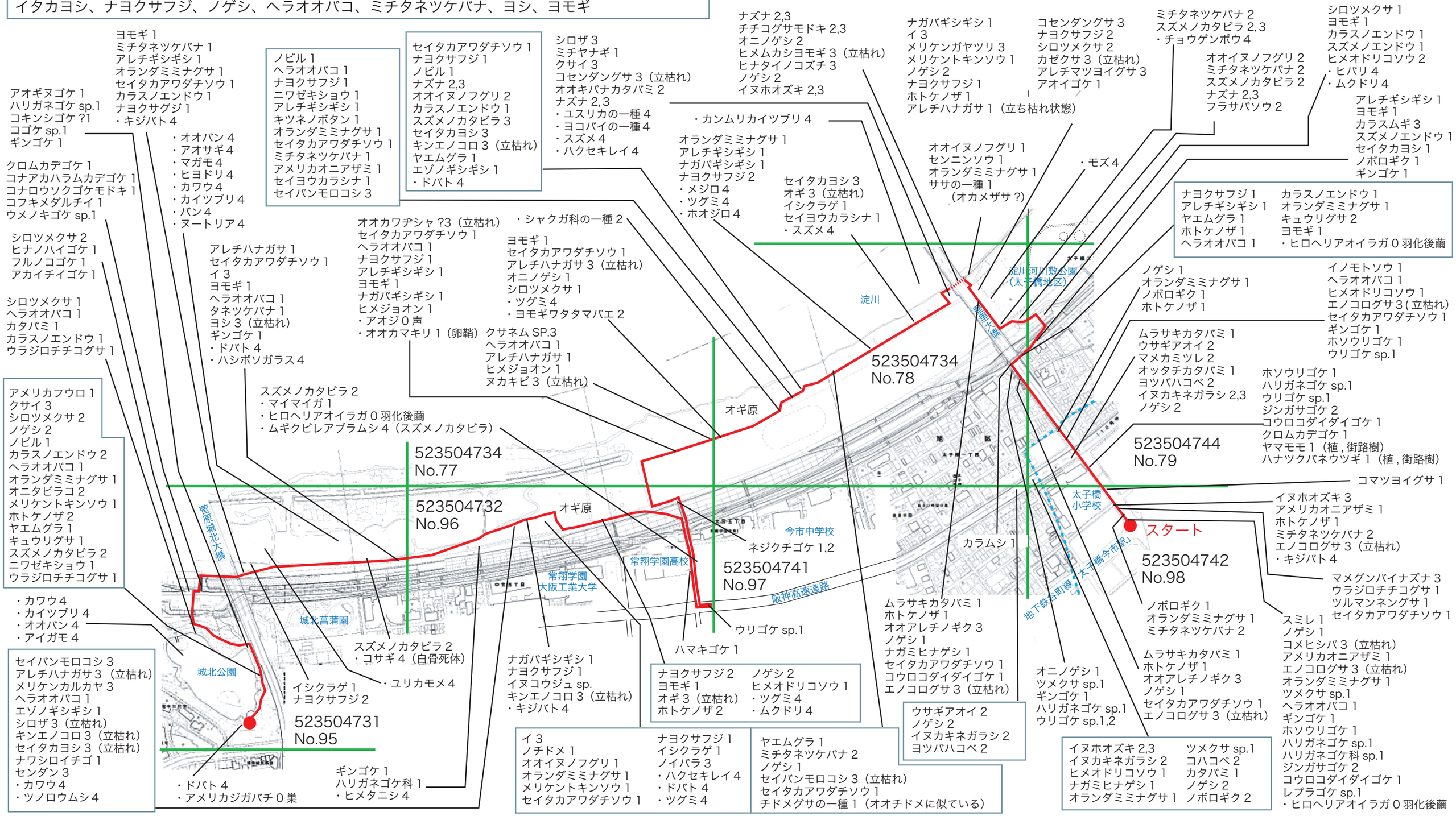
太子橋周辺で観察された生き物の記録　コース No.3

種名とともに、状態を表す記号を付記した。
1: 葉、卵　2: 花、幼虫、幼鳥　3: 果実、蛹　4: 実生、成虫、成鳥　0: その他　植 : 植栽
※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。
　植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。
※2 分の 1 地域メッシュコード（総務省）で分割し、そのコード番号の下に記載した No.
は旧「みどりと生き物会議」で使用した大阪市域 500m メッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草 : アレチハナガサ、ウラジロチチコグサ、エノコログサ、オギ、オニノゲシ、オランダミミナグサ、カラスノエンドウ、ギシギシの仲間、シロツメクサ、セイタカアワダチソウ、セイタカヨシ、ナヨクサフジ、ノゲシ、ヘラオオバコ、ミチタネツケバナ、ヨシ、ヨモギ

日　時 :2020 年 2 月 16 日　10:00〜15:00　天候 : 雨
調査者 : 岩永圭司　北川ちえこ　木山正隆　竹原秀樹　中谷憲一　中西花奈、中西有美　林耕太　桝元慶子
一般参加者：0 名　　事務局 : 伊藤優佑
場　所 : エリア・マップ No.4,5,6

コメント : 河川敷ではナヨクサフジとアレチハナガサがずっと見られ、ヨシとオギだけは健在という感じでした。雨が降り水につかりながらでしたので大きい草だけが目立ったのでしょうか。アオジやホオジロなどの小鳥が見られたのは良かったですが、水鳥は数が少ないと思ました。ヌートリアの糞があったり泳いでいたり、骨格標本のようなコサギの死体を見つけるなど、快適とは言えない調査にも、面白い体験がありました。